

学校教育 目標	心をつむぎ ともに「生きる力」を発揮できる子どもの育成
育成を目指す 資質・能力	確かな学力の定着・向上 / 豊かな心をはぐくむ教育活動の充実 / 体力の向上と心身の健康の保持増進

	学力状況について	学習状況について
児童 生徒 の 課題	<p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県学力定着状況調査は、3教科とも平均正答率を上回っているが、国語で下回っている領域がある。 ・全国学力・学習状況調査は、3教科とも平均正答率を下回っており、全体的な底上げが必要である。 ・文章を正しく読み取ったり、読み深めたりすることに課題がある。 	<p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを資料を使ってまとめて発表する活動や、理科の実験結果を見直し修正する活動が不十分。 ・国語、算数、理科の勉強は大切で、理解できていると思っているが、好きではないと思っている児童が多い。 ・家庭での生活習慣、学習習慣が定着していない児童がいる。
	<p>これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善や家庭学習における基礎・基本の定着、国語タイム等による個別指導により、単元末テストで50点以下の児童の割合8%以下を達成できている。 ・宿題提出率90%以上は、ほぼ達成できているが、学年が上がるにつれて達成率が下がる。 ・1学期末児童アンケートより、「授業を受けて学習した内容が分かった」と思う児童は94%、「授業では、自分の意見や考えをもち、書いたり話したりしている」児童は91%であった。 	
指導 の 状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互見授業や全体研究の推進により、課題設定やまとめ方、ペア・グループ活動の設定の仕方や板書に工夫・改善が見られる。 ・自分の意見を発表する場を設定した授業の実施により、「自分の意見をもって考えている」児童90%以上を達成できている。 ・文章の読みを深めるために、意見を交流する場において、他者の話を聴くことにも重点をおく。 ・文章を正しく読み取る指導が必要。 <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績下位層の学力向上のために、個別指導が必要である。 ・家庭での生活習慣や学習習慣が定着するよう、連携の仕方を検討・実施していくことが必要。 	

学力に関する達成指標

- ・単元末評価テストで目標値を達成する児童の割合を80%以上、50点以下の児童の割合を8%以下にし、各種学力調査結果が全国平均を上回る。
- ・「授業が分かりやすい」と感じる児童の割合を95%以上にする。
- ・「自分の意見をもって、考えている」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・宿題提出率を90%以上にする。

